

# 柳井市都市計画審議会議案書

議案番号	種類	決定権者	審議事項	内 容
1	道路	山口県	柳井都市計画道路の変更	3・2・1 南柳井線の変更
2	道路	柳井市	柳井都市計画道路の変更	3・4・7 明法寺新市線の廃止 3・4・8 新市三本松線の廃止 3・5・3 柳井港線の廃止 3・5・11 山手線の廃止 3・5・12 小深田稲積線の廃止 3・4・6 古開作線の変更 3・5・2 中央通り線の変更 3・5・4 古開作中開作線の変更 3・5・10 後地和田線の変更
3	公園	柳井市	柳井都市計画公園の変更	2・2・1 岡ノ上公園の変更
4	市場	柳井市	柳井都市計画市場の変更	第1号 山口県農業協同組合南すおう地方卸売市場の廃止

と き：令和8年1月20日（火）  
 ところ：柳井市役所 3階大会議室

議案第 1 号

柳井都市計画道路の変更（山口県決定）

都市計画道路中 3・2・1 南柳井線を次のように変更する。

種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経過地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・2・1	南柳井線	柳井市 南町 四丁目	柳井市 井柳 字稲積	柳井市 井柳	約 3,400m	地表式	4 車線	30m	幹線街路と平面交差 3 箇所	
	幅員の内訳		24.5m			約 330m					
			30 m			約 3,070m					

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

# 理 由

## 3・2・1 南柳井線

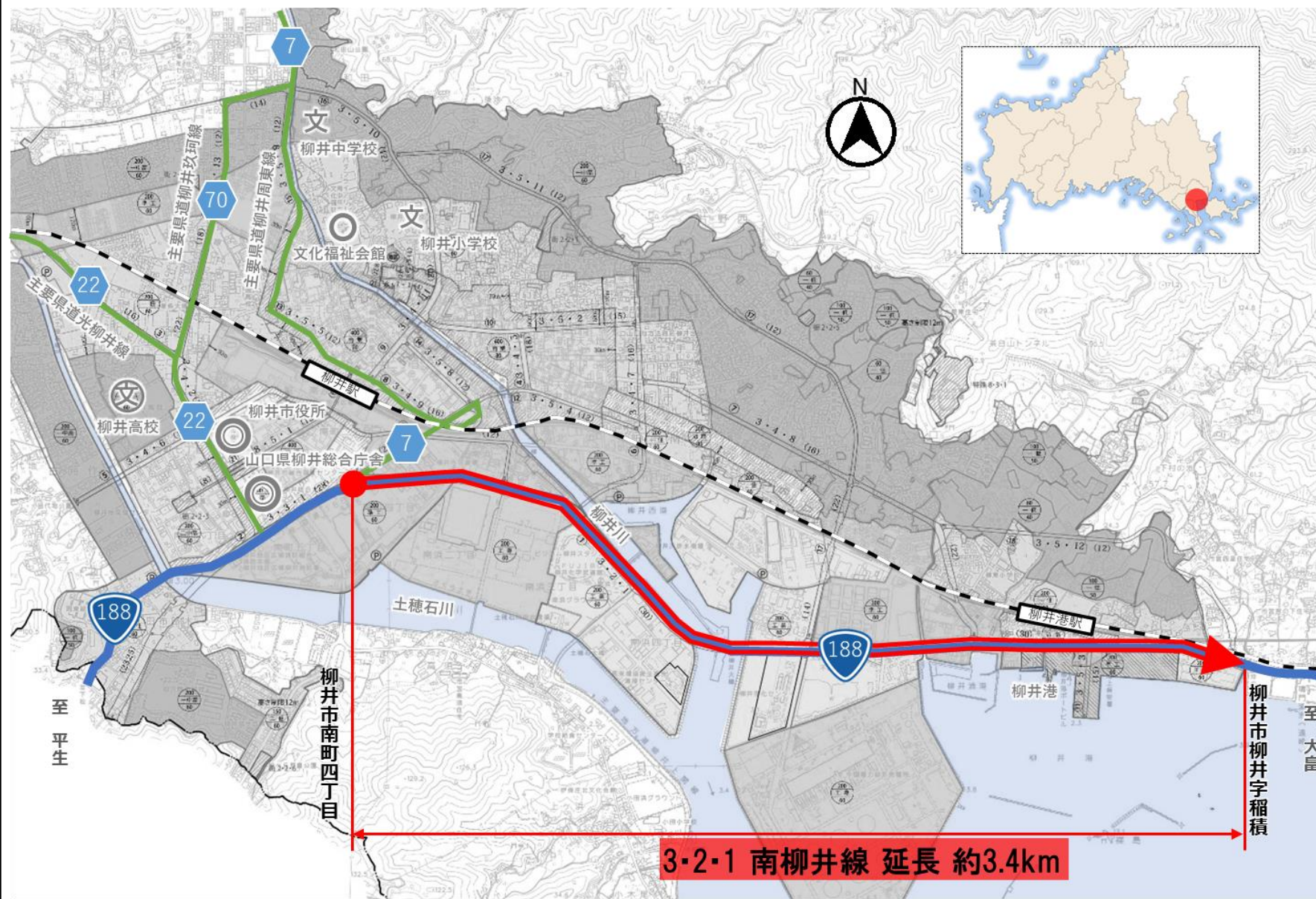
本路線は、柳井市南町四丁目から柳井字稲積に至る幹線街路であり、当初計画は昭和 33 年（1958 年）に決定され、平成 14 年（2002 年）に現在の計画へと変更されています。

この度、本路線と平面交差する 3・4・7 明法寺新市線、3・4・8 新市三本松線、3・5・3 柳井港線、3・5・11 山手線、3・5・12 小深田稲積線の廃止に伴い、交差箇所の隅切りについての処理を行う必要が生じました。

あわせて、道路事業実施に際し、詳細な調査・設計により、道路構造の一部見直しが必要となったため、道路計画の見直しを行い、区域の一部を変更するものです。

# 柳井都市計画道路の変更

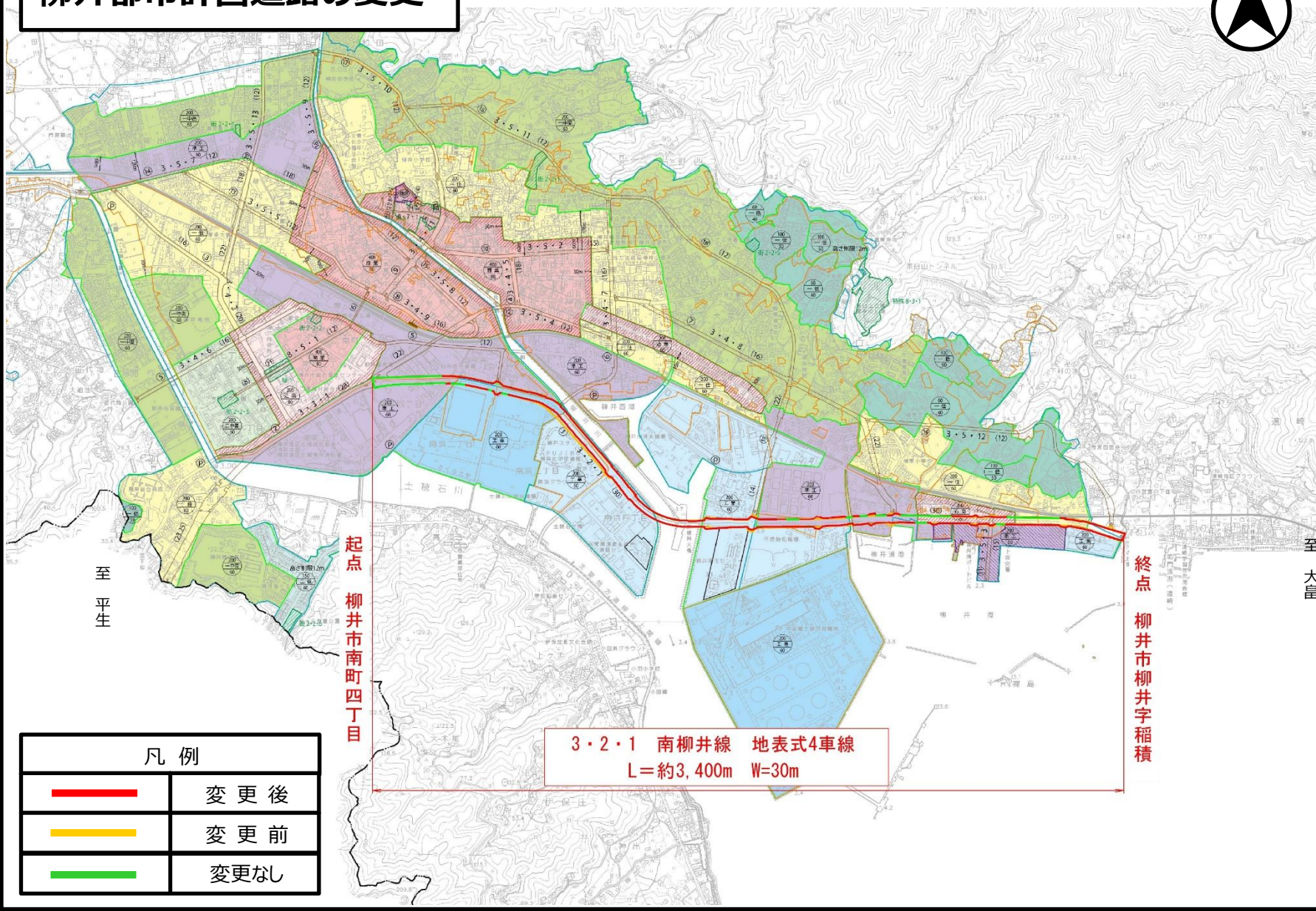
(案)





# 柳井都市計画道路の変更

(案)  
総括図



## 凡 例

<span style="color: red;">—</span>	変 更 後
<span style="color: yellow;">—</span>	変 更 前
<span style="color: green;">—</span>	変更なし

# 新 旧 対 照 表

旧 新	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
		番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経過地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
旧	幹線街路	3・2・1	南柳井線	柳井市 南町 四丁目	柳井市 大字柳井 字稲積	柳井市 大字柳井	約 3,400m	地表式	4車線	30m	幹線街路と平面交差 8 箇所	
		幅員の内訳		25.5m			約 330m					
				30 m			約 3,070m					
新	幹線街路	3・2・1	南柳井線	柳井市 南町 四丁目	柳井市 柳井 字稲積	柳井市 柳井	約 3,400m	地表式	4車線	30m	幹線街路と平面交差 3 箇所	
		幅員の内訳		24.5m			約 330m					
				30 m			約 3,070m					

第2号議案

柳井都市計画道路の変更（柳井市決定）

1. 都市計画道路中3・4・7明法寺新市線ほか4路線を廃止する。

種別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経過地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・4・7	明 法 寺 新 市 線	柳 井 市 南 浜 一 丁 目	柳 井 市 山 根	柳 井 市 新 市	約 1,010m	地表式	2 車線	16m	J R 山陽線と立体交差 幹線街路と平面交差 5 箇所	全線廃止
	幅員の内訳		12m			約 190m					
			16m			約 580m					
			22m			約 240m					
	3・4・8	新 三 本 松 市 線	柳 井 市 新 市 北	柳 井 市 大 字 柳 井 大 字 三 本 松	柳 井 市 大 字 柳 井	約 1,590m	地表式	2 車線	16m	幹線街路古開作中開作線 と立体交差 幹線街路と平面交差 2 箇所	全線廃止
	幅員の内訳		16m			約 1,140m					
			22m			約 450m					
	3・5・3	柳 井 港 線	柳 井 市 大 字 柳 井 字 岸 ノ 下	柳 井 市 大 字 柳 井 字 岸 ノ 下	柳 井 市 大 字 柳 井 字 岸 ノ 下	約 290m	地表式	2 車線	15m	幹線街路と平面交差 1 箇所	全線廃止
	なお、起点付近に約 1,000 m <sup>2</sup> の駅前広場を設ける。										
	3・5・11	山 手 線	柳 井 市 大 字 柳 井 字 尾 ノ 上	柳 井 市 大 字 柳 井 字 宮 本 塩 浜	柳 井 市 大 字 柳 井	約 2,820m	地表式	2 車線	12m	J R 山陽線と立体交差 幹線街路と平面交差 5 箇所	全線廃止
	幅員の内訳		12m			約 2,340m					
			14m			約 250m					
			22m			約 230m					
	3・5・12	小 稲 深 田 線	柳 井 市 大 字 柳 井 大 字 小 深 田	柳 井 市 大 字 柳 井 大 字 稲 積	柳 井 市 大 字 柳 井	約 1,330m	地表式	2 車線	12m	J R 山陽本線と立体交差 幹線街路と平面交差 2 箇所	全線廃止

2. 都市計画道路中 3・4・6 古開作線ほか 3 路線を次のように変更する。

種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経過地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
幹 線 街 路	3・4・6	古 開 作 線	柳 井 市 南 浜 一 丁 目	柳 井 市 古 開 作 字 田 布 路 木	柳 井 市 南 町 一 丁 目	約 1,850m	地表式	2 車線	16m	幹線街路古開作中開作線 と立体交差 幹線街路と平面交差2箇所	
	幅員の内訳		12m			約 750m					
			16m			約 1,100m					
	なお、柳井市南町二丁目地内に約 2,000 m <sup>2</sup> の駅前広場を設ける。										
	3・5・2	中 央 通 り 線	柳 井 市 柳 井 津 字 金 屋 町	柳 井 市 土 手 町	柳 井 市 柳 井 津	約 350m	地表式	2 車線	15m	幹線街路と平面交差2箇所	
	幅員の内訳		15m			約 210m					
			17m			約 140m					
	3・5・4	古 開 作 線 中 開 作 線	柳 井 市 南 町 四 丁 目	柳 井 市 天 神	柳 井 市 中 央 一 丁 目	約 1,000m	地表式	2 車線	12m	J R 山陽線と立体交差 幹線街路柳井駅東大才線 と立体交差 幹線街路と平面交差3箇所	
	幅員の内訳		12m			約 700m					
			22m			約 300m					
	3・5・10	後 地 和 田 線	柳 井 市 柳 井 前 場	柳 井 市 柳 井 大 立 田	柳 井 市 柳 井	約 780m	地表式	2 車線	12m	幹線街路と平面交差1箇所	
	幅員の内訳		12m			約 640m					
			13m			約 140m					

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

## 理 由

### ３・４・７ 明法寺新市線

本路線は、柳井市南浜一丁目から山根に至る幹線街路であり、当初計画は昭和 33 年（1958 年）に決定され、平成 14 年（2002 年）に現在の計画へと変更されています。

本路線は全線未整備となっていますが、当初計画時からの社会経済状況の変化により、想定していた交通量が見込めず、交通機能を担う道路として本路線を整備する必要性は低下しています。

このため、道路計画の見直しを行い、本路線を廃止しようとするものです。

### ３・４・８ 新市三本松線

本路線は、柳井市新市北から柳井字三本松に至る幹線街路であり、当初計画は昭和 33 年（1958 年）に決定され、平成 14 年（2002 年）に現在の計画へと変更されています。

本路線は全線未整備となっていますが、当初計画時からの社会経済状況の変化により、想定していた交通量が見込めず、交通機能を担う道路として本路線を整備する必要性は低下しています。

このため、道路計画の見直しを行い、本路線を廃止しようとするものです。

### ３・５・３ 柳井港線

本路線は、柳井市柳井字岸ノ下に位置する柳井港駅と柳井港を結ぶ幹線街路であり、当初計画は昭和 33 年（1958 年）に決定され、平成 14 年（2002 年）に現在の計画へと変更されています。

本路線は全線未整備となっていますが、当初計画時からの社会経済状況の変化により、想定していた交通量が見込めず、交通機能を担う道路として本路線を整備する必要性は低下しています。

このため、道路計画の見直しを行い、本路線を廃止しようとするものです。



### ３・５・１１ 山手線

本路線は、柳井市柳井字尾ノ上から柳井字宮本塩浜に至る幹線街路であり、当初計画は昭和 33 年（1958 年）に決定され、平成 14 年（2002 年）に現在の計画へと変更されています。

本路線は一部区間を除き大半が未整備となっていますが、当初計画時からの社会経済状況の変化により、想定していた交通量が見込めず、交通機能を担う道路として本路線を整備する必要性は低下しています。

このため、道路計画の見直しを行い、本路線を廃止しようとするものです。

### ３・５・１２ 小深田稲積線

本路線は、柳井市柳井字小深田から柳井字稲積に至る幹線街路であり、当初計画は昭和 33 年（1958 年）に決定され、平成 14 年（2002 年）に現在の計画へと変更されています。

本路線は全線未整備となっていますが、当初計画時からの社会経済状況の変化により、想定していた交通量が見込めず、交通機能を担う道路として本路線を整備する必要性は低下しています。

このため、道路計画の見直しを行い、本路線を廃止しようとするものです。

### ３・４・６ 古開作線

本路線は、柳井市南浜一丁目から古開作字田布路木に至る幹線街路であり、当初計画は昭和 47 年（1972 年）に決定され、平成 18 年（2006 年）に現在の計画へと変更されています。

この度、本路線と平面交差する ３・２・１ 南柳井線の交差点構造の変更に伴い、起点付近の交差点の構造を変更する必要が生じました。

このため、道路計画の見直しを行い、起点付近の平面交差箇所の構造を変更しようとするものです。

### ３・５・２ 中央通り線

中央通り線は、柳井市柳井津字金屋町から東土手に至る幹線街路であり、当初計画は昭和 33 年（1958 年）に決定され、平成 14 年（2002 年）に現在の計画へと変更されています。

中央通り線のうち、起点から ３・４・５ 姫田線までの区間は整備済みの状況となっていますが、残りの区間は未整備となっています。当該未整備区間については、当初計画時からの社会経済状況の変化により、想定していた交通量が見込めず、交通機能を担う道路として整備する必要性が低下しています。

このため、道路計画の見直しを行い、路線の一部を廃止し、終点の位置及び計画延長を変更しようとするものです。

### ３・５・４ 古開作中開作線

古開作中開作線は、柳井市南町四丁目から新市南に至る幹線街路であり、当初計画は昭和 33 年（1958 年）に決定され、平成 14 年（2002 年）に現在の計画へと変更されています。

古開作中開作線のうち、起点から天神までの区間は整備済みとなっていますが、残りの区間は未整備となっています。当該未整備区間については、当初計画時からの社会経済状況の変化により、想定していた交通量が見込めず、交通機能を担う道路として整備する必要性が低下しています。

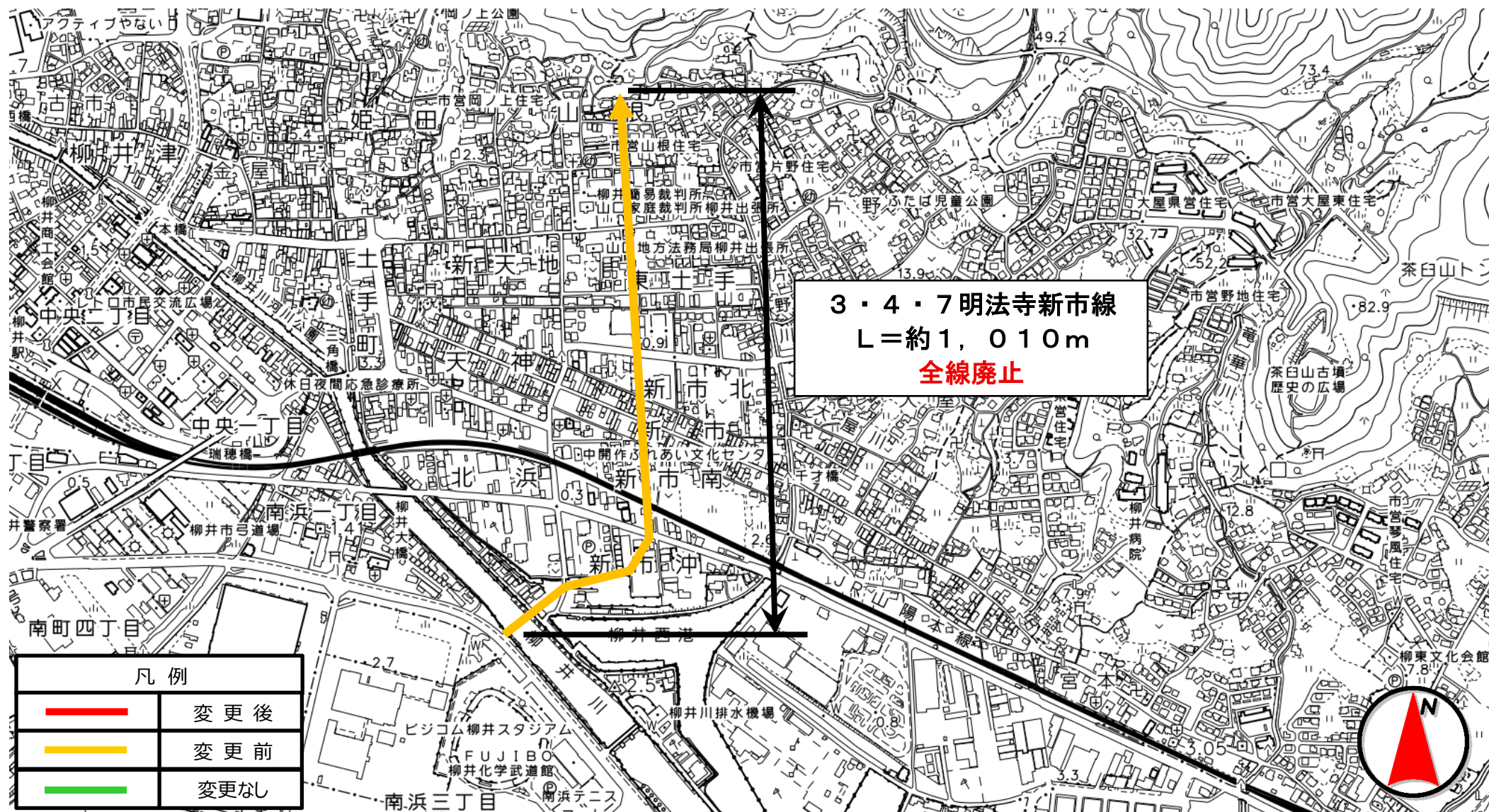
このため、道路計画の見直しを行い、路線の一部を廃止し、終点の位置及び計画延長を変更しようとするものです。

### ３・５・10 後地和田線

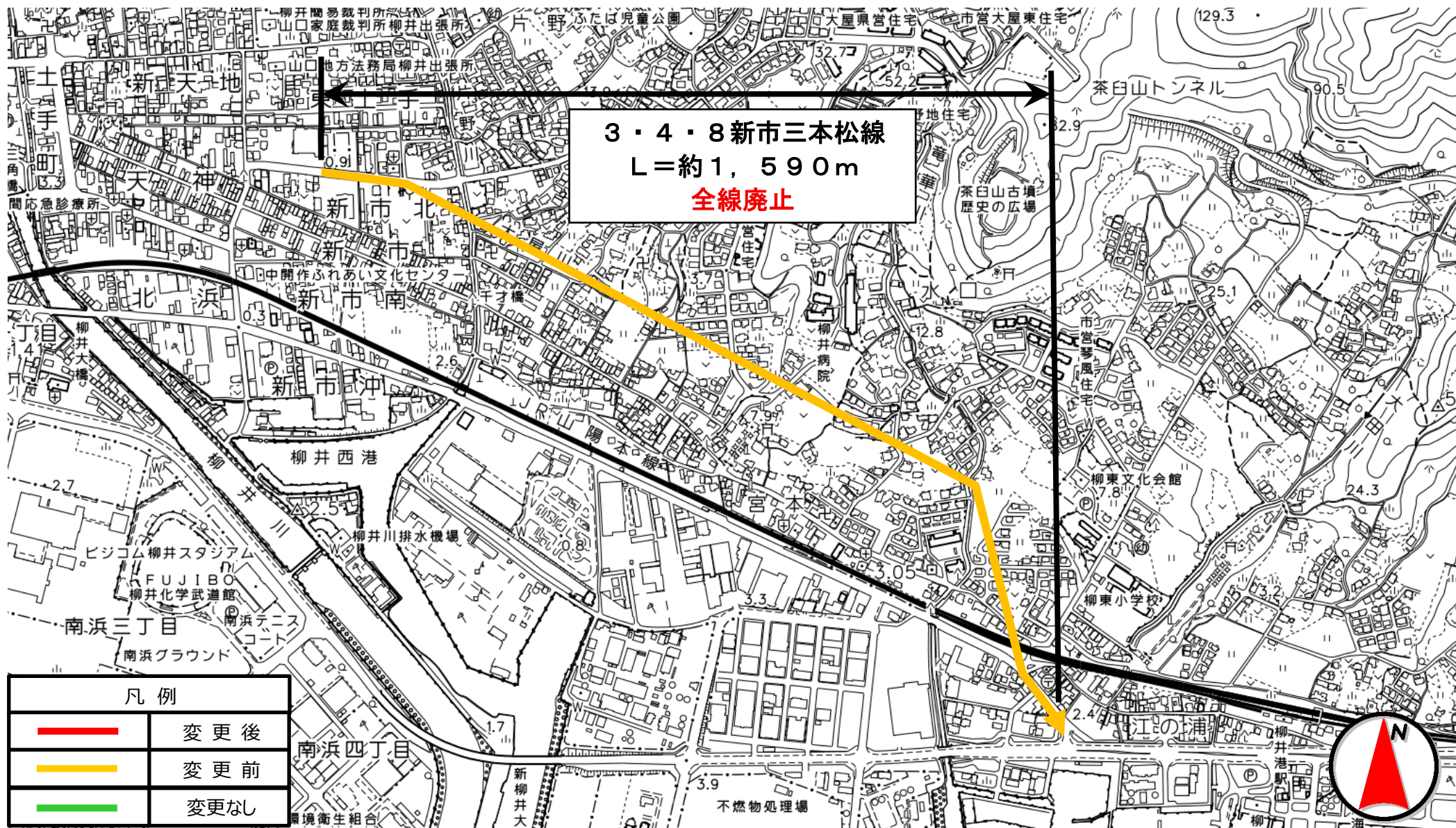
本路線は、柳井市柳井字前場から柳井字大立田に至る幹線街路であり、当初計画は昭和 33 年（1958 年）に決定され、令和 5 年（2023 年）に現在の計画へと変更されています。

この度、本路線と平面交差する ３・５・11 山手線の計画廃止に伴い、交差箇所の隅切りについての処理を行う必要が生じました。

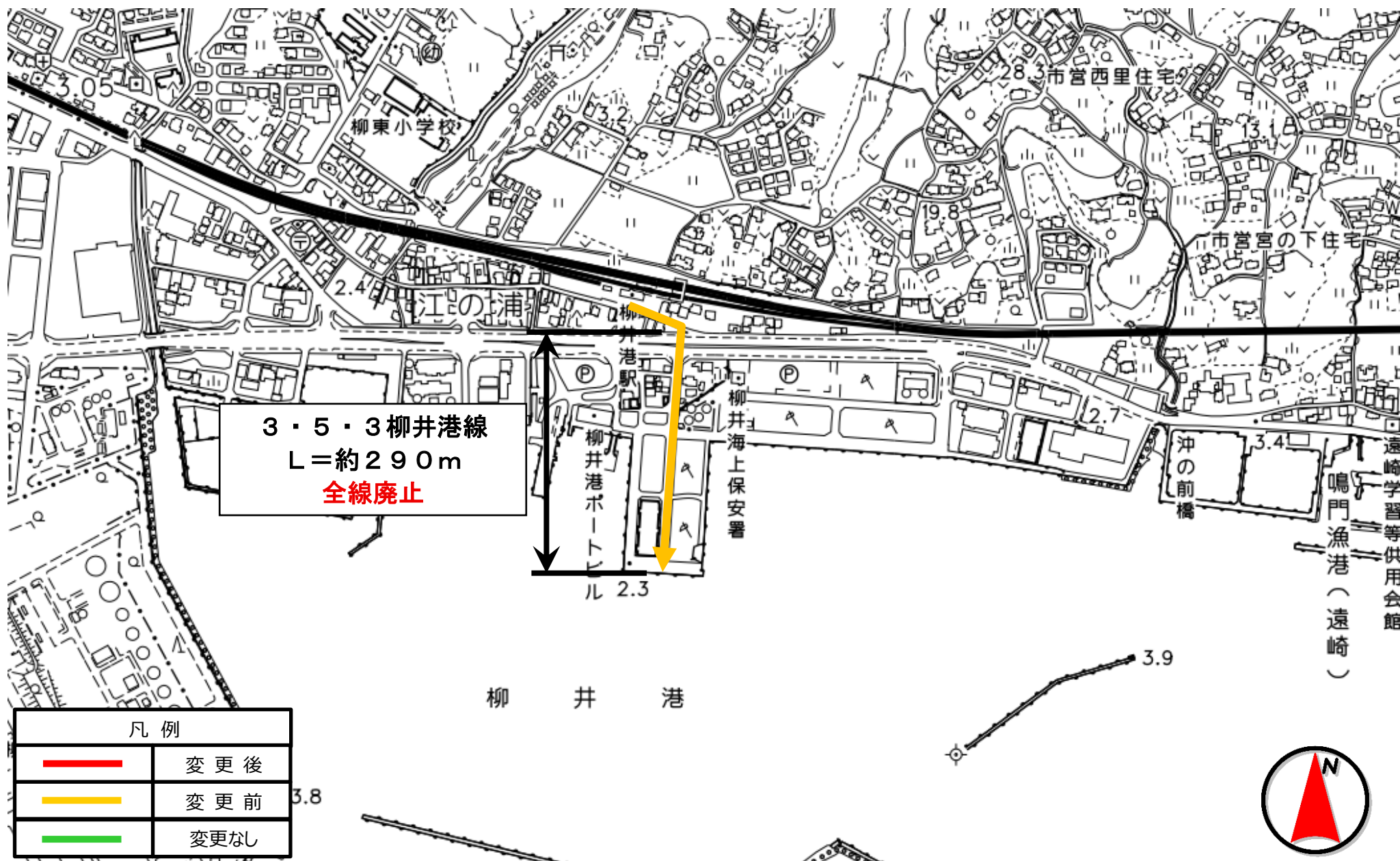
このため、道路計画の見直しを行い、平面交差箇所の交差点数を変更しようとするものです。



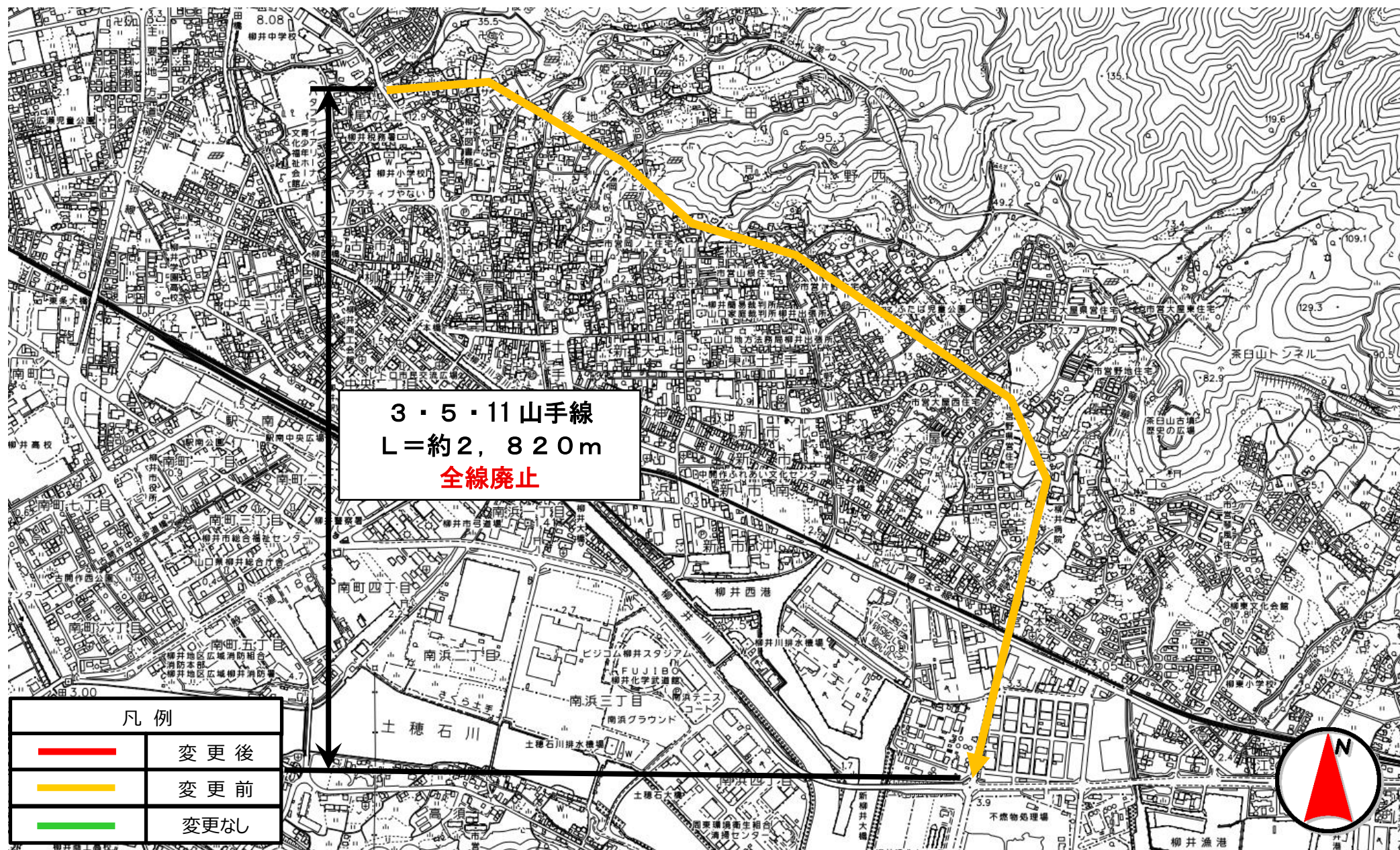




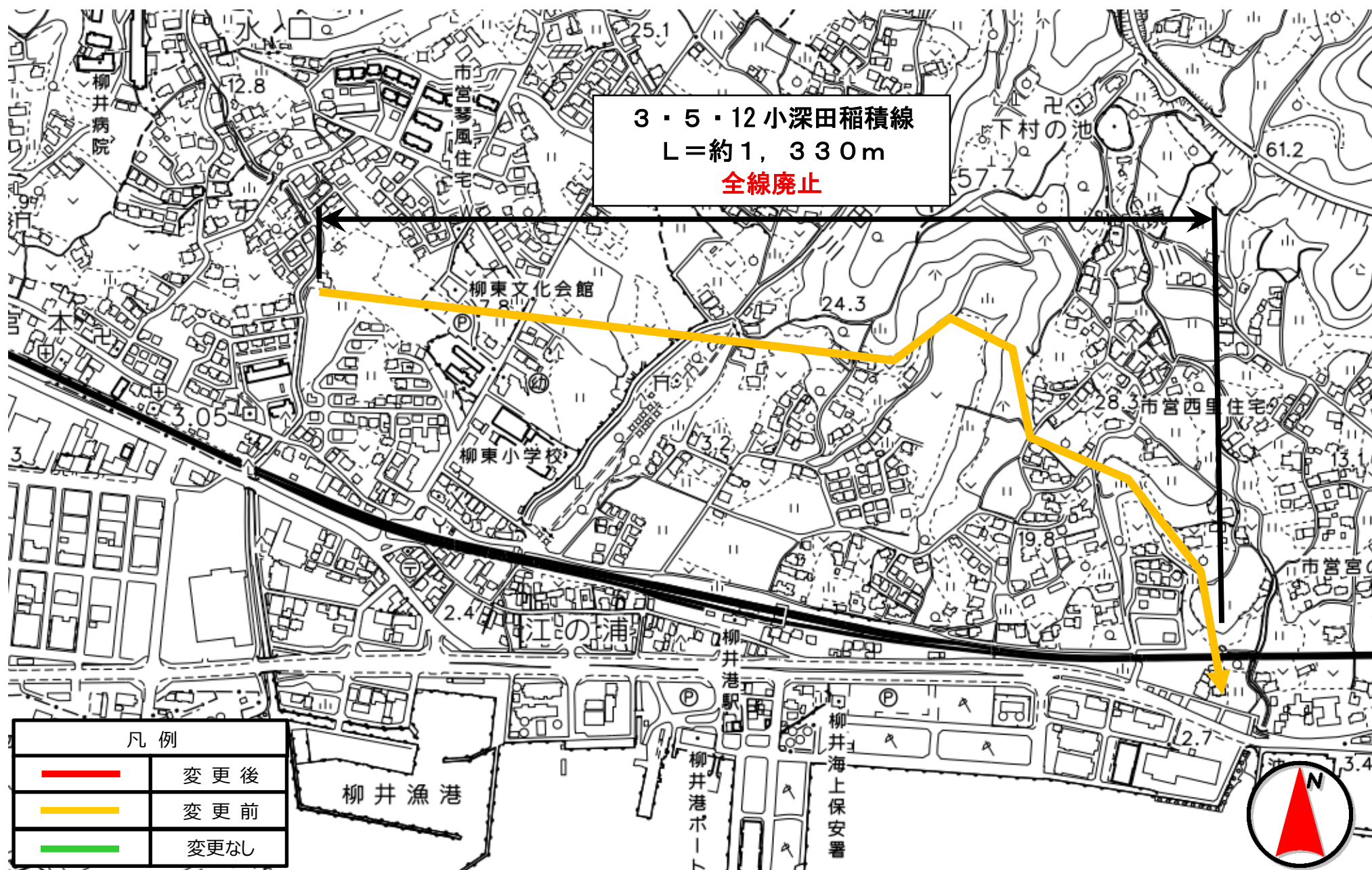




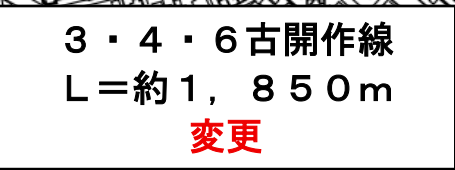




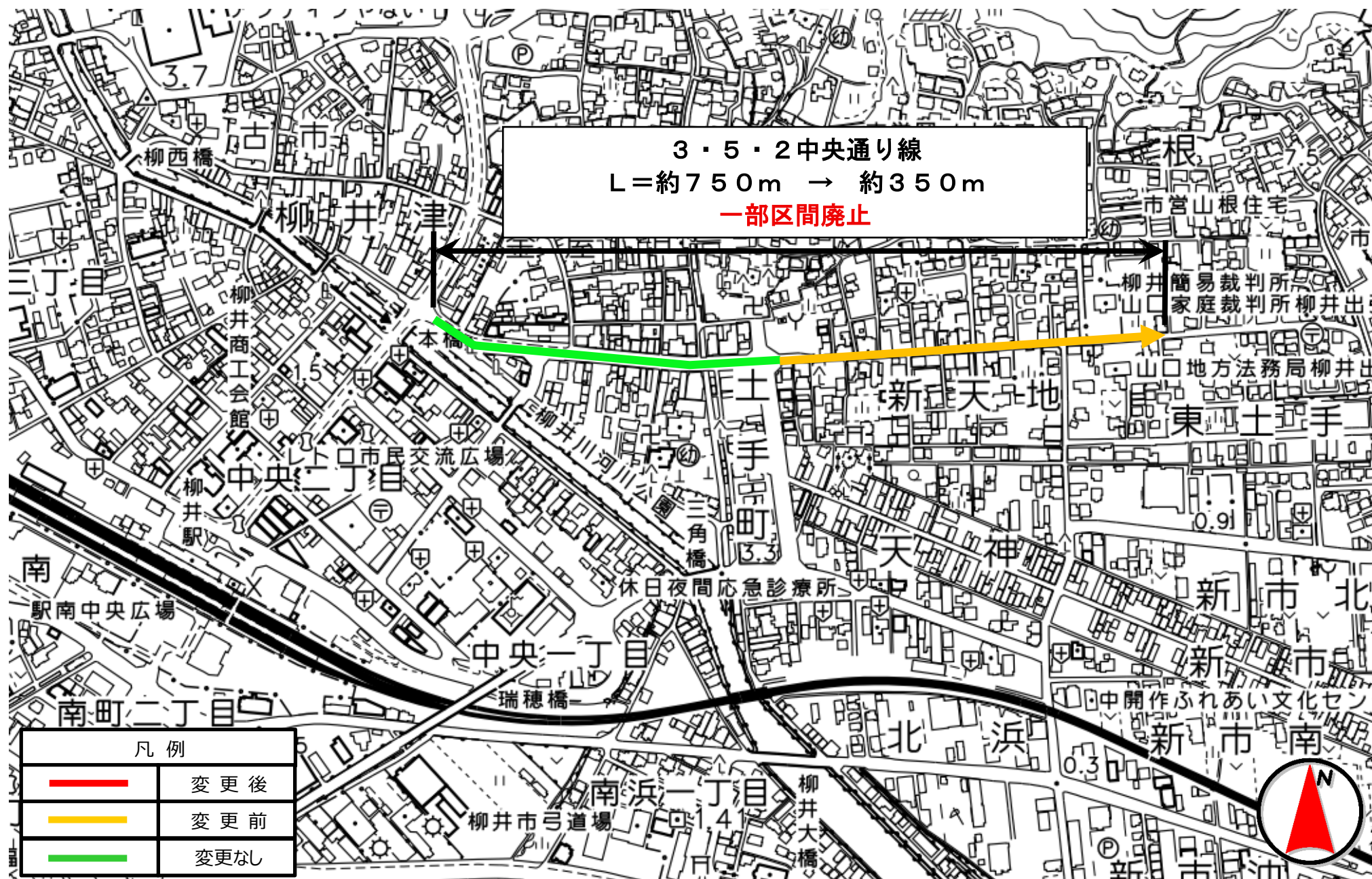








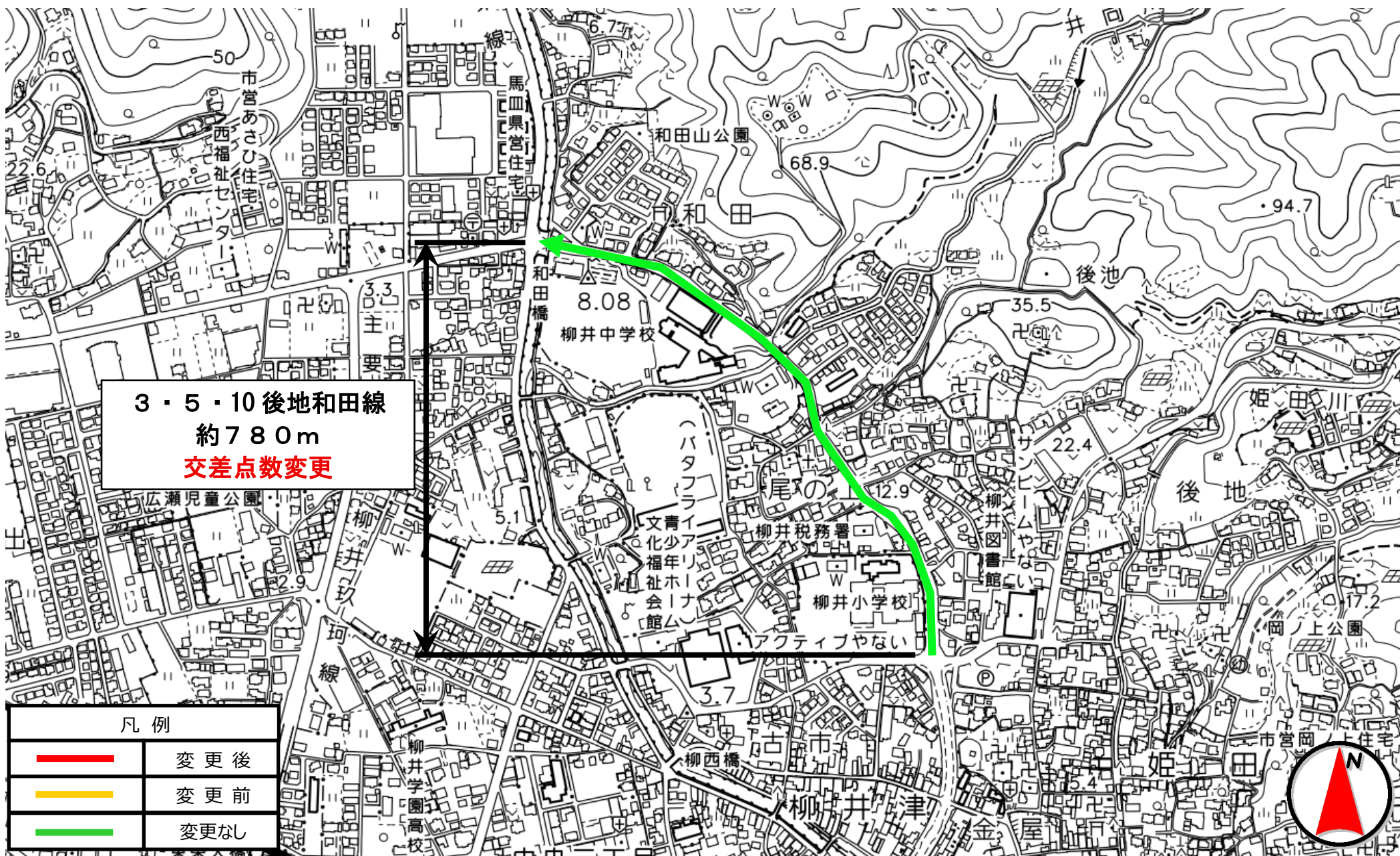




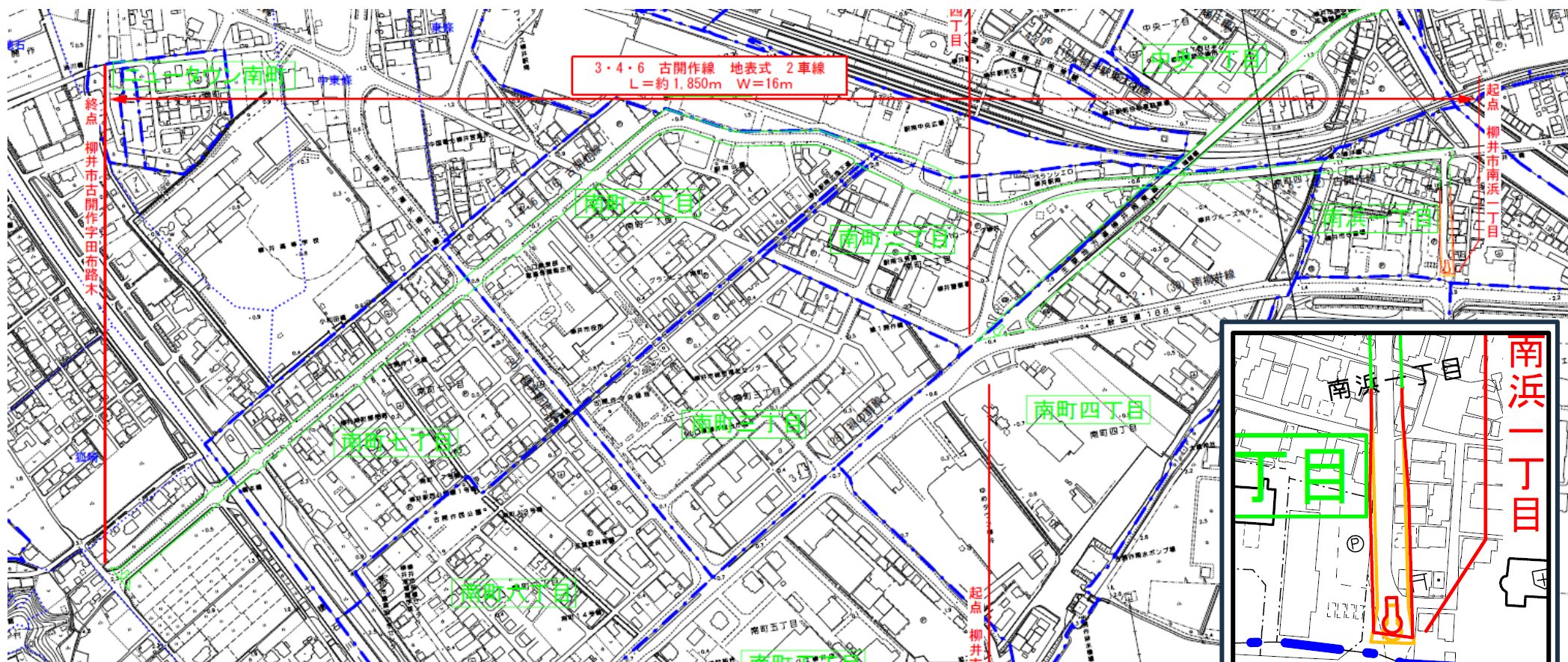








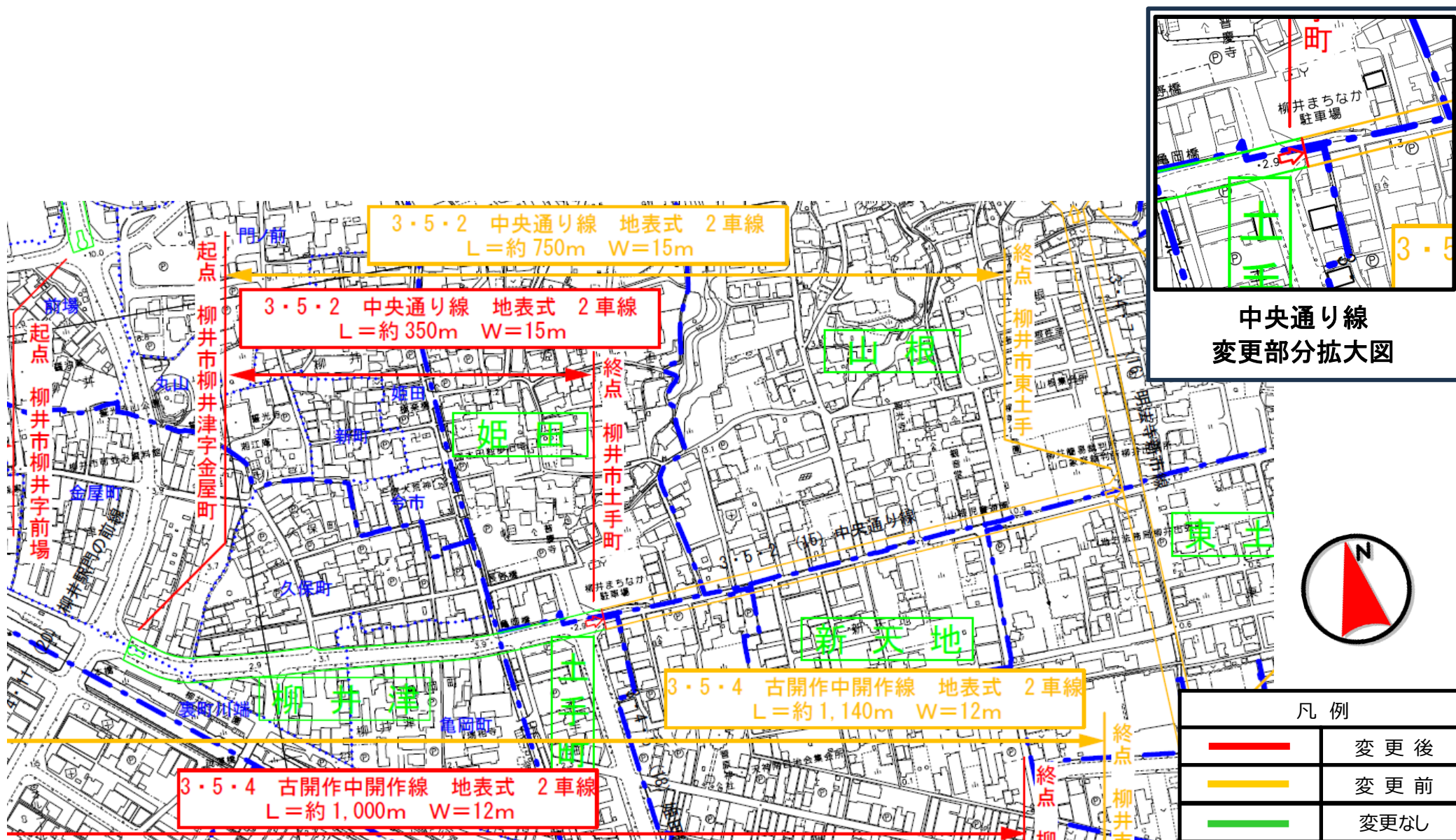




凡 例	
<span style="color: red;">—</span>	変 更 後
<span style="color: orange;">—</span>	変 更 前
<span style="color: green;">—</span>	変更なし

















# 新 旧 対 照 表

旧 新	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
		番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経過地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
旧	幹線街路	3・4・7	明 法 寺 新 市 線	柳 井 市 南 一 丁 目	柳 井 市 山 根	柳 井 市 新 市	約 1,010m	地表式	2 車線	16m	J R 山陽線と立体交差 幹線街路と平面交差 5 箇所	
		幅員の内訳		12m			約 190m					
				16m			約 580m					
				22m			約 240m					
新	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	全線廃止
旧	幹線街路	3・4・8	新 三 本 松 市 線	柳 井 市 新 市 北	柳 井 市 大 字 柳 井 字 三 本 松	柳 井 市 大 字 柳 井	約 1,590m	地表式	2 車線	16m	幹線街路古開作中開作線と 立体交差 幹線街路と平面交差 2 箇所	
		幅員の内訳		16m			約 1,140m					
				22m			約 450m					
新	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	全線廃止
旧	幹線街路	3・5・3	柳 井 港 線	柳 井 市 大 字 柳 井 字 岸 ノ 下	柳 井 市 大 字 柳 井 字 岸 ノ 下	柳 井 市 大 字 柳 井 字 岸 ノ 下	約 290m	地表式	2 車線	15m	幹線街路と平面交差 1 箇所	
		なお、起点付近に約 1,000 m <sup>2</sup> の駅前広場を設ける。										
新	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	全線廃止

旧 新	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
		番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経過地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
旧	幹線街路	3・5・11	山 手 線	柳 井 市 大 字 柳 井 字 尾 ノ 上	柳 井 市 大 字 柳 井 字 宮 本 塩 浜	柳 井 市 大 字 柳 井	約 2,820m	地表式	2 車線	12m	J R 山陽線と立体交差 幹線街路と平面交差 5 箇所	
		幅員の内訳		12m			約 2,340m					
				14m			約 250m					
				22m			約 230m					
新	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	全線廃止
旧	幹線街路	3・5・12	小 深 田 線	柳 井 市 大 字 柳 井 字 小 深 田	柳 井 市 大 字 柳 井 字 稲 積	柳 井 市 大 字 柳 井	約 1,330m	地表式	2 車線	12m	J R 山陽本線と立体交差 幹線街路と平面交差 2 箇所	
新	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	全線廃止

旧 新	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
		番 号	路 線 名	起 点	終 点	主  主  主 経 過 地	延  長	構造 形式	車線 の数	幅員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
旧	幹線街路	3・4・6	古 開 作 線	柳 井 市 南 浜 一 丁 目	柳 井 市 古 開 作 字田布路木	柳 井 市 南 町 一 丁 目	約 1,850m	地表式	2 車線	16m	幹線街路古開作中開作線と 立体交差 幹線街路と平面交差 2 箇所	
		幅員の内訳		12m			約 750m					
				16m			約 1,100m					
		なお、柳井市南町二丁目地内に約 2,000 m <sup>2</sup> の駅前広場を設ける。										
新	幹線街路	3・4・6	古 開 作 線	柳 井 市 南 浜 一 丁 目	柳 井 市 古 開 作 字田布路木	柳 井 市 南 町 一 丁 目	約 1,850m	地表式	2 車線	16m	幹線街路古開作中開作線と 立体交差 幹線街路と平面交差 2 箇所	
		幅員の内訳		12m			約 750m					
				16m			約 1,100m					
		なお、柳井市南町二丁目地内に約 2,000 m <sup>2</sup> の駅前広場を設ける。										
旧	幹線街路	3・5・2	中央通り線	柳 井 市 大字柳井津 字 金 屋 町	柳 井 市 東 土 手	柳 井 市 大字柳井津	約 750m	地表式	2 車線	15m	幹線街路と平面交差 3 箇所	
		幅員の内訳		15m			約 610m					
				17m			約 140m					
新	幹線街路	3・5・2	中央通り線	柳 井 市 大字柳井津 字 金 屋 町	柳 井 市 東 土 手	柳 井 市 大字柳井津	約 350m	地表式	2 車線	15m	幹線街路と平面交差 2 箇所	
		幅員の内訳		15m			約 210m					
				17m			約 140m					



旧 新	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
		番 号	路 線 名	起 点	終 点	主  な 経 過 地	延  長	構造 形式	車線 の数	幅員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
旧	幹線街路	3・5・4	古  開  作 中  開  作 線	柳  井  市 南  四  丁  目	柳  井  市 新  市  南	柳  井  市 天  神	約 1,140m	地表式	2 車線	12m	J R 山陽線と立体交差 幹線街路柳井駅東大才線と 立体交差 幹線街路と平面交差 4 箇所	
		幅員の内訳		12m			約  840m					
				22m			約  300m					
新	幹線街路	3・5・4	古  開  作 中  開  作 線	柳  井  市 南  四  丁  目	柳  井  市 新  市  南	柳  井  市 天  神	約 1,000m	地表式	2 車線	12m	J R 山陽線と立体交差 幹線街路柳井駅東大才線と 立体交差 幹線街路と平面交差 3 箇所	
		幅員の内訳		12m			約  700m					
				22m			約  300m					
旧	幹線街路	3・5・10	後地和田線	柳  井  市 柳  井  前  場	柳  井  市 柳  井  大  立  田	柳  井  市 柳  井	約  780m	地表式	2 車線	12m	幹線街路と平面交差 2 箇所	
		幅員の内訳		12m			約  640m					
				13m			約  140m					
新	幹線街路	3・5・10	後地和田線	柳  井  市 柳  井  前  場	柳  井  市 柳  井  大  立  田	柳  井  市 柳  井	約  780m	地表式	2 車線	12m	幹線街路と平面交差 1 箇所	
		幅員の内訳		12m			約  640m					
				13m			約  140m					

第3号議案

柳井都市計画公園の変更（柳井市決定）

都市計画公園中 2・2・1 岡ノ上公園を次のように変更する。

種 別	名 称		位 置	面 積	備 考
	番 号	公園名			
街 区 公 園	2・2・1	岡ノ上公園	柳 井 市 姫 田	約0. 5 7 h a	植栽、ぶらんこ、砂場

「区域は計画図表示のとおり」



## 理 由

都市計画公園岡ノ上公園は、昭和 52 年に都市計画決定され、第一種中高層住居専用地域に位置する街区公園として地域住民に広く利用されているところです。

この度、都市計画道路山手線の廃止に併せ、既に供用している公園利用者用駐車場を都市計画公園に編入するとともに、国土調査法に基づく地籍調査の成果を踏まえ、実態との整合を図るものです。

また、住居表示の実施に伴う町名の変更に伴い、位置の名称の変更を行うものです。





# 新 旧 対 照 表

区分	種別	名 称		位 置	面 積	備 考
		番 号	公園名			
旧	児童公園	2・2・1	岡ノ上公園	柳 井 市 大字 柳 井 字 岡 ノ 上	約0. 5 5 h a	植栽、ぶらんこ、砂場
新	街区公園	2・2・1	岡ノ上公園	柳 井 市 姫 田	約0. 5 7 h a	植栽、ぶらんこ、砂場

#### 第4号議案

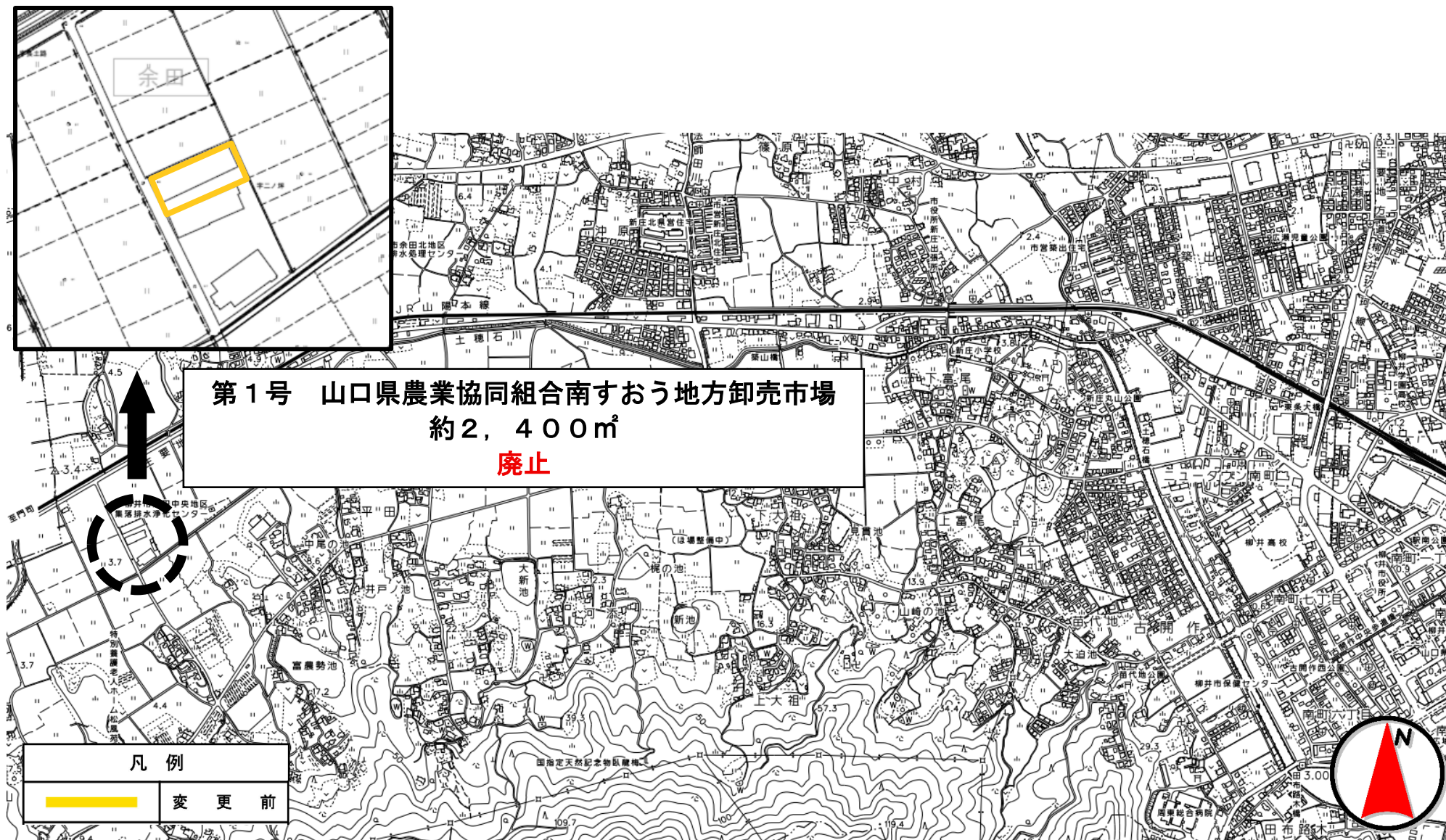
##### 柳井都市計画市場の変更（柳井市決定）

都市計画市場中第1号山口県農業協同組合南すおう地方卸売市場を廃止する。



## 理 由

都市計画市場山口県農業協同組合南すおう地方卸売市場は、平成１１年３月に都市計画決定され、同年１０月に供用を開始しています。この度、当該施設が閉鎖され、今後、市場としての土地利用の計画がないことから、本市場を廃止するものです。





# 新 旧 対 照 表

新 旧	名 称		位 置	面 積	備 考
	番 号	市場名			
旧	第 1 号	山口県農業協同組合 南すおう地方卸売市場	柳 井 市 余 田 字 二 ノ 坪	約 2,400 m <sup>2</sup>	取扱量 12t/日
新	—	—	—	—	—